

2020年3月期 第2四半期
決算説明会

2019年10月30日
株式会社 **DTS**

目次

1

2020年3月期 第2四半期決算概況

2

2020年3月期 主要施策の進捗状況

3

2020年3月期 見通し

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としていますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

1. 2020年3月期 第2四半期決算概況

1. Nelito Systems Limited の子会社化

2019年6月、金融事業領域でのグローバルビジネス拡大を目的に、Nelito Systems Limited（インド・ムンバイ／以降、本資料では「Nelito」と記載）の株式を追加取得し、新たに連結子会社とした。

同年7月、さらに株式の追加取得を行い、株式保有率は98%超となった。

2. 自己株式の取得

2019年5月、資本効率の向上ならびに、株主へより一層の利益還元を図るため、自己株式を取得した。（約177千株、約8億円）

3. コーポレート・ガバナンスの実効性強化

2019年6月の定時株主総会后、役員13名のうち7名が独立役員となり、過半数を占めることとなった。今後もコーポレート・ガバナンスの実効性確保に努める。

4. 株式分割

2019年7月、株式の流動性向上に向け、普通株式を1株から2株へ分割した。

第2四半期 連結業績

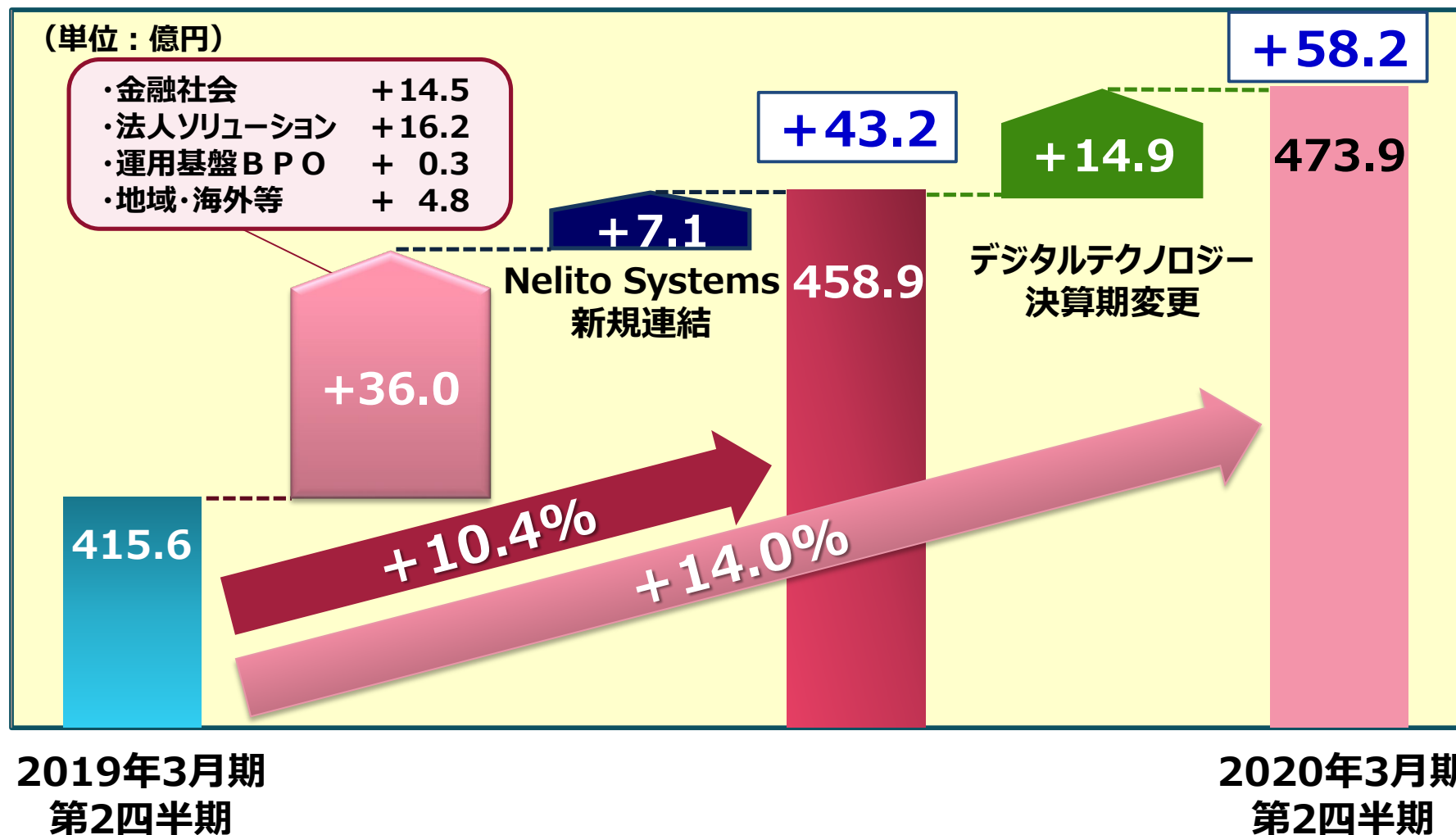


売上高は、金融分野・法人ソリューション分野の増収などでDTS単体の業績が好調に推移し、Nelito新規連結・DTC決算期変更含め、前年同期比+58.2億円。営業利益は、組込み関連分野の前年特需による反動減があったものの、増収に伴う利益増などにより前年同期比+7.8億円。売上高、営業利益ともに第2四半期累計期間における過去最高を更新。

(単位：億円)	実績	売上比(前年同期比)		前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	473.9 <458.9>	—		+58.2 <+43.2>	114.0% <110.4%>	50.7% ※49.9%
売上総利益	92.6 <91.0>	19.6% <19.8%>	(△0.6pt) <△0.3pt>	+9.0 <+7.4>	110.8% <108.9%>	50.5%
販管費	40.4 <39.0>	8.5% <8.5%>	(△0.9pt) <△0.9pt>	+1.1 <△0.2>	102.9% <99.3%>	48.4%
営業利益	52.2 <52.0>	11.0% <11.3%>	(+0.4pt) <+0.7pt>	+7.8 <+7.6>	117.8% <117.3%>	52.3%
経常利益	53.2 <53.0>	11.2% <11.6%>	(+0.4pt) <+0.7pt>	+8.1 <+7.9>	118.1% <117.6%>	52.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36.7 <36.6>	7.8% <8.0%>	(+0.4pt) <+0.6pt>	+6.1 <+5.9>	119.9% <119.5%>	53.3%

(参考) 第2四半期 売上高増減要因

デジタルテクノロジーの決算期変更影響を除いた場合、前年同期比+43.2億円 (+10.4%成長)。



第2四半期 個別業績

売上高は、金融分野・法人ソリューション分野が好調に推移した結果、前年同期比+30.9億円。

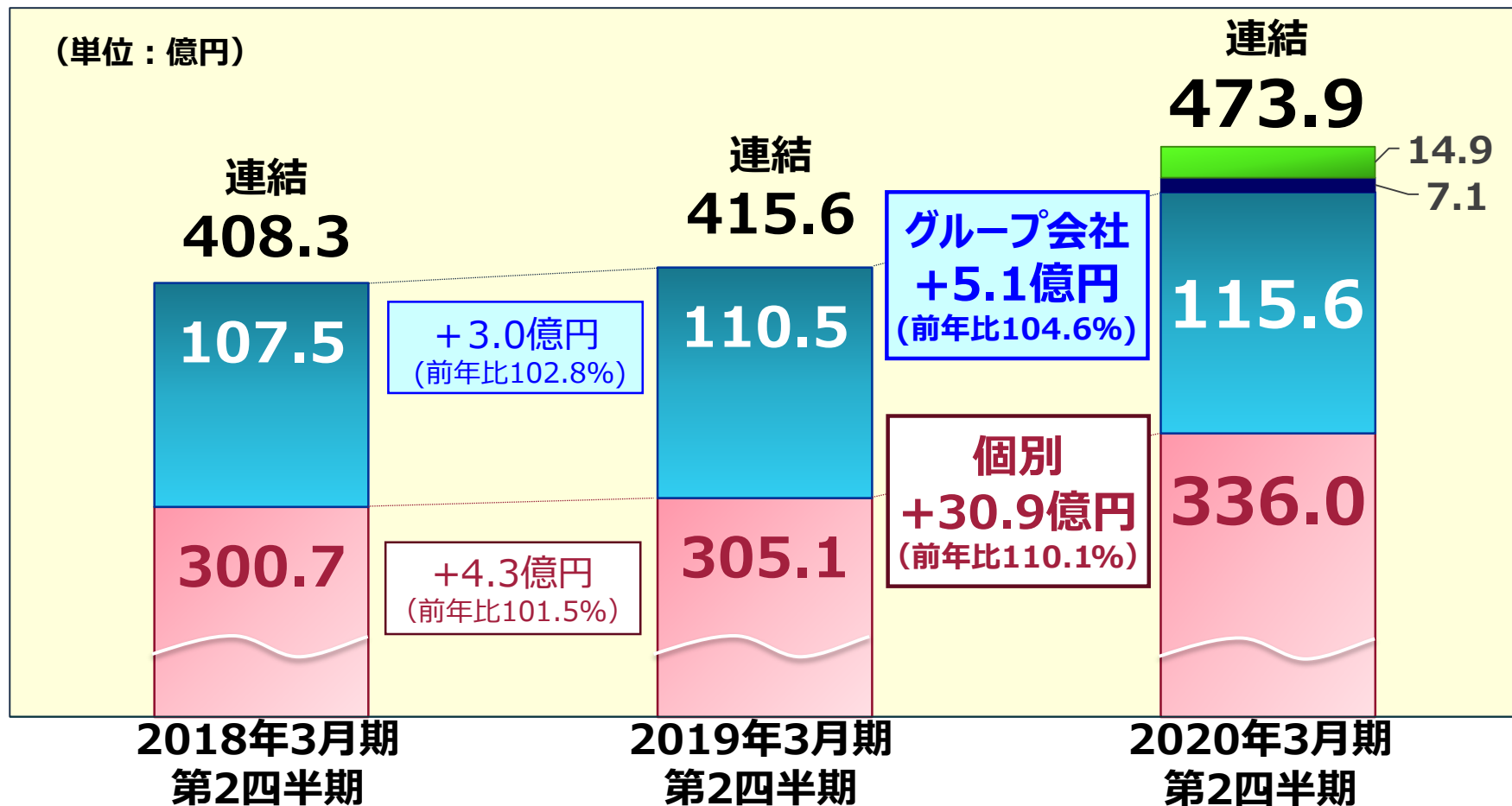
営業利益は、売上増加に伴う利益増や販管費の減少で前年同期比+8.3億円。

(単位：億円)	実績	売上比（前年同期比）		前年同期比	
売上高	336.0	—		+30.9 <+54.8>	110.1% <119.5%>
売上総利益	66.5	19.8%	(+0.3pt) <+0.1pt>	+6.9 <+11.1>	111.6% <120.2%>
販管費	23.6	7.0%	(△1.2pt) <△1.0pt>	△1.3 <+1.0>	94.5% <104.6%>
営業利益	42.8	12.8%	(+1.4pt) <+1.1pt>	+8.3 <+10.1>	124.0% <130.9%>
経常利益	48.0	14.3%	(+1.8pt) <+1.4pt>	+9.8 <+11.7>	125.9% <132.3%>
四半期純利益	34.4	10.3%	(+1.4pt) <+1.0pt>	+7.3 <+8.5>	126.9% <133.0%>

売上高の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、証券や住宅関連の好調などで、前年同期比+30.9億円。
グループ会社では、地域分野が好調に推移したことなどにより、前年同期比+5.1億円（Nelitoの新規連結・DTC決算期変更を除く）。

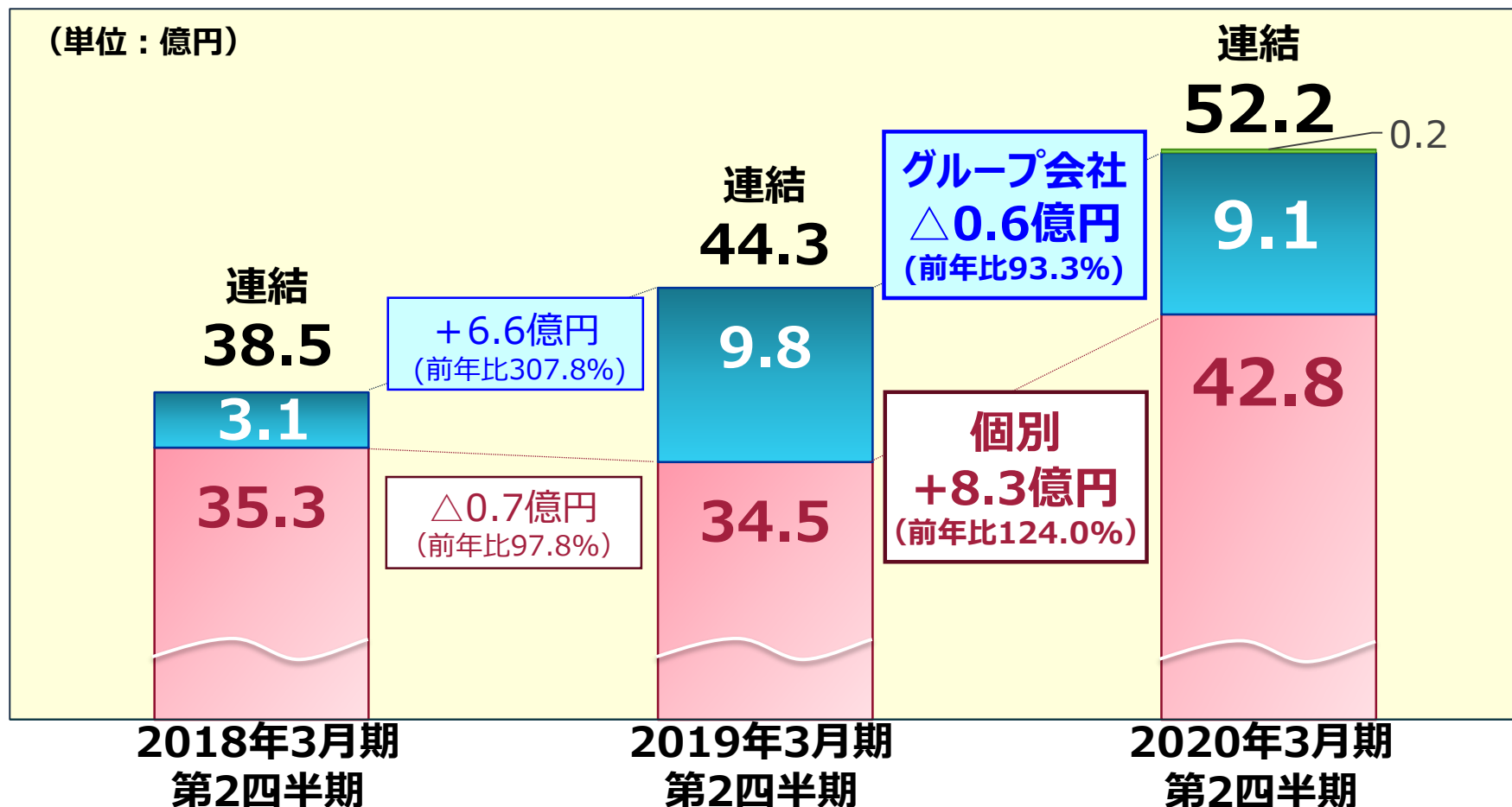
■ 個別売上高 ■ グループ会社売上高（連結調整含む） ■ Nelito新規連結 ■ DTC決算期変更



営業利益の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、売上増加に伴う利益増などにより+8.3億円。
グループ会社では、前年の組込み関連における特需の反動減などにより、前年同期比△0.6億円。

■ 個別営業利益 ■ グループ会社営業利益 (連結調整含む) ■ DTC決算期変更



第2四半期 セグメント別売上高

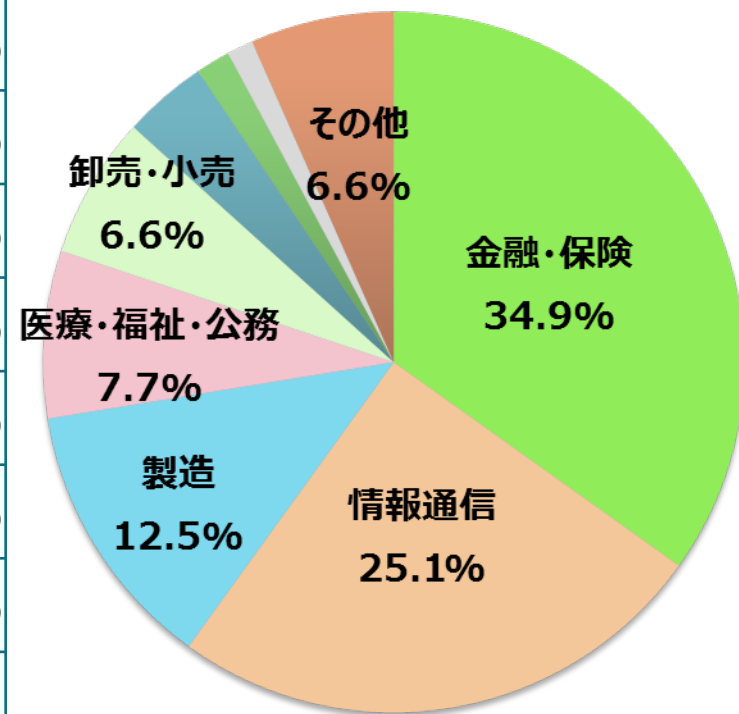
- ・金融社会では、証券の大型案件や政府系金融機関などの増加により増収。
- ・法人ソリューションでは、住宅関連などの案件が好調に推移し、増収。
- ・運用基盤BPOでは、DTC決算期変更影響を除くと前年同期並み。
- ・地域・海外等では、地域分野の好調な業績やNelitoの新規連結などで増収。

(単位：億円)	実績	売上比（前年同期比）		前年同期比		業績予想に対する進捗率
				増減	売上比	
売上高	473.9 <458.9>	—		+58.2 <+43.2>	114.0% <110.4%>	50.7%
金融社会	156.1	32.9% <34.0%>	(△1.1pt) <△0.0pt>	+14.5	110.3%	50.4%
法人ソリューション	135.3	28.6% <29.5%>	(△0.1pt) <+0.8pt>	+16.2	113.6%	49.6%
運用基盤BPO	128.6 <113.7>	27.2% <24.8%>	(△0.1pt) <△2.5pt>	+15.3 <+0.3>	113.5% <100.3%>	49.9%
地域・海外等	53.7	11.3% <11.7%>	(+1.3pt) <+1.7pt>	+12.0	128.9%	57.2%

(参考) 第2四半期 エンドユーザ別 連結売上高

経済産業省による業種分類別売上高

(単位：億円)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	160.0	34.9%	+20.4	114.6%
情報通信	115.1	25.1%	+1.4	101.3%
製造	57.2	12.5%	+6.8	113.6%
医療・福祉・公務	35.4	7.7%	+3.4	110.8%
卸売・小売	30.0	6.6%	+3.7	114.3%
運輸・郵便	17.8	3.9%	+1.0	106.0%
教育・学習支援	7.2	1.6%	+1.0	116.3%
学術研究・専門・ 技術サービス	5.6	1.2%	△ 1.1	83.6%
その他	30.3	6.6%	+6.3	126.3%
合計	458.9	100.0%	+43.2	110.4%

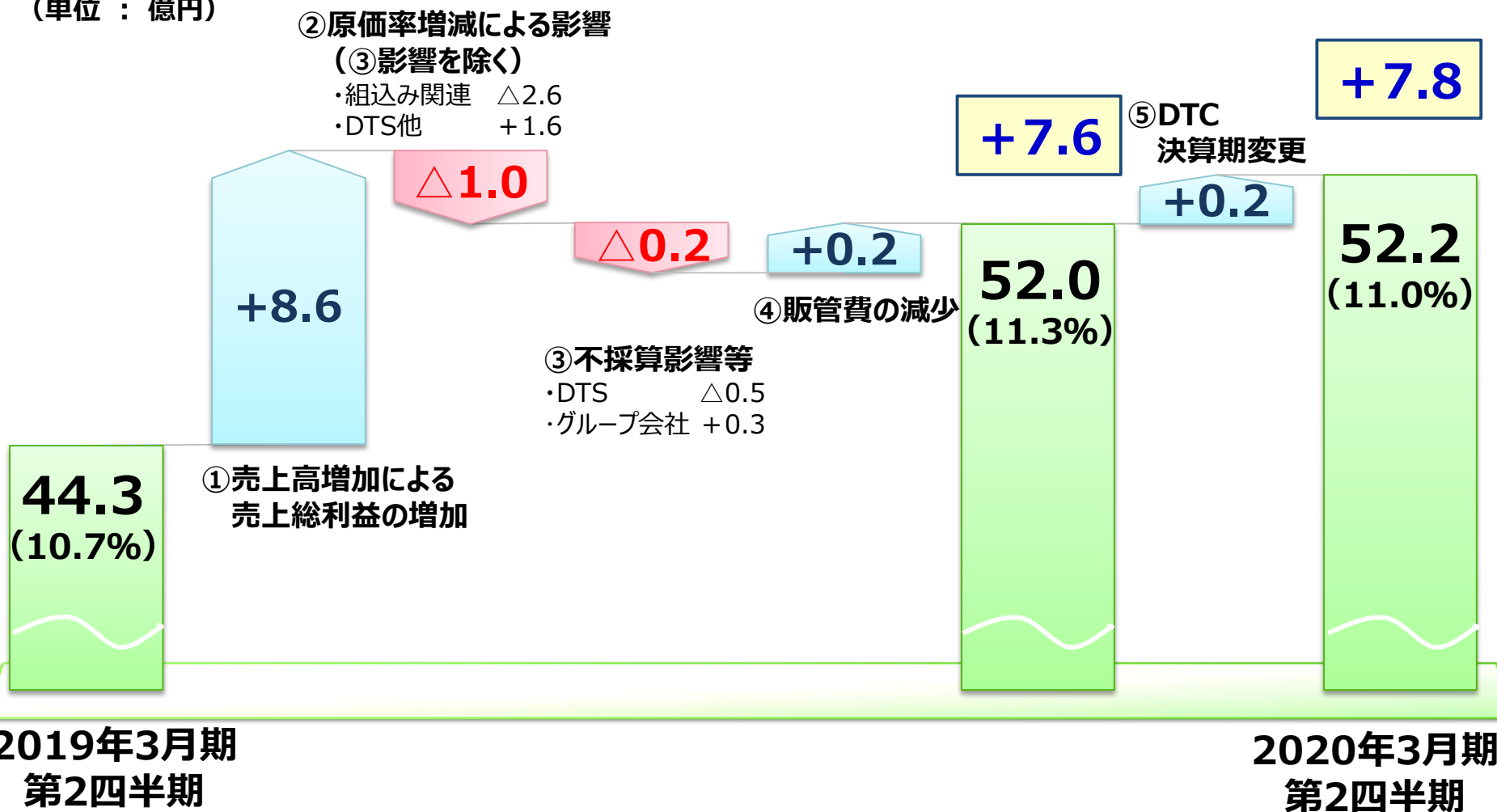


- 運輸・郵便
- 教育・学習支援
- 学術研究・専門・技術サービス業

第2四半期 連結営業利益の増減要因

売上増加に伴う利益増で、組込み関連分野における前年特需の反動減をカバーし、前年同期比+7.8億円。

(単位：億円)



【受注残高の状況】

- ・金融社会では、証券系案件のサービス開始などにより減少。
- ・法人ソリューションでは、住宅関連やソリューション案件の拡大で増加。
- ・運用基盤BPOでは、小売の運用案件拡大などで増加。
- ・地域・海外等では、Nelitoの新規連結や地域分野の好調などで増加。

単位（億円、%）	受注高				受注残高			
	実績	構成比	前年同期比		実績	構成比	前年同期比	
連結	373.1 <356.6>	-	+39.7 <+23.2>	111.9% <107.0%>	290.7 <289.2>	-	+19.2 <+17.8>	107.1% <106.6%>
金融社会	107.7	28.9% <30.2%>	△0.2	99.8%	105.8	36.4% <36.6%>	△7.6	93.3%
法人ソリューション	132.2	35.4% <37.1%>	+15.5	113.4%	69.7	24.0% <24.1%>	+7.1	111.4%
運用基盤BPO	75.2 <58.7>	20.2% <16.5%>	+10.1 <△6.3>	115.6% <90.2%>	79.4 <77.9>	27.3% <27.0%>	+4.4 <+3.0>	106.0% <104.0%>
地域・海外等	57.9	15.5% <16.3%>	+14.2	132.6%	35.5	12.2% <12.3%>	+15.3	175.5%

2. 2020年3月期 主要施策の進捗状況

中期経営ビジョンのもと、社会の持続的成長に寄与し、企業価値向上を目指して3つの基本方針と5つの重点施策への取り組みを推進している。



中期経営 ビジョン

明日の社会に新たな価値を提供する Next Value Creator

- ESG経営を推進し、DTSグループによる新たな価値創出（社会的価値・経済的価値）を実現する。

3つの 基本方針

中計ビジョン達成に向けた経営方針

- 持続可能な社会の実現
- 新たなS I e rへの進化
- 自律型人材への変革

5つの重点施策

方針達成に向けた施策・考え方

- 営業力・S I 力の強化
- 新規事業の創出
- グループ経営基盤の強化
- 社内システム・事務の刷新
- 働き方改革の実践

3つの基本方針を推進していくために、5つの重点施策を設定。
各分野単位で具体的な施策を計画し、取り組みを推進中。

5つの重点施策

営業力・SI力の強化

- ・ソリューション営業、アカウント営業の集約
- ・プロジェクトマネジメントの強化
- ・海外グループ会社活用（オフショア拡大）

新規事業の創出

- ・DX推進室によるデジタルビジネスへの適応・創出
- ・新技術（AI、IoT等）人材の育成
- ・社会課題(SDGs)を解決するソリューションの創出

グループ経営基盤の強化

- ・グループ再編によるグループ体制強化
- ・M&Aによるグループ強化
- ・ESGを意識した情報管理と開示

社内システム・事務の刷新

- ・業務プロセスの徹底的な合理化
- ・社内システムに先進的技術を積極的に活用

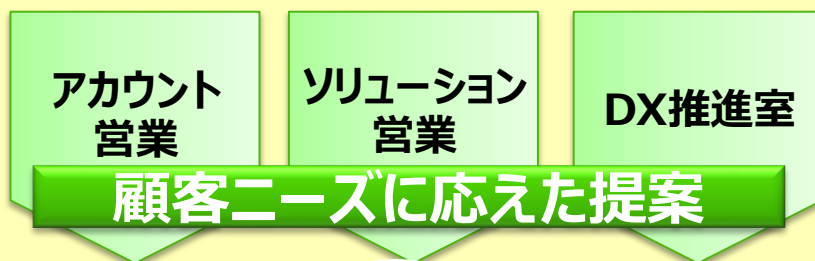
働き方改革の実践 (人事改革・健康経営)

- ・人事評価制度の見直し（社員の挑戦を評価）
- ・多様な働き方を支援する仕組の導入（休職復職支援、テレワーク等）

顧客課題に対し、ソリューションや新技術を活用した提案活動を進めるため、2019年4月より、ソリューション営業担当、DX推進室を営業本部内に設置。中期計画最終年度の売上高1,000億円の目標達成および持続的な成長に向け、新規顧客獲得に取り組んでいる。

営業力強化

アカウント営業・ソリューション営業・DX推進室が一体となり顧客ニーズを的確に捉える営業活動を推進。



提案型営業への転換

営業力
SI力の強化

DX活用推進

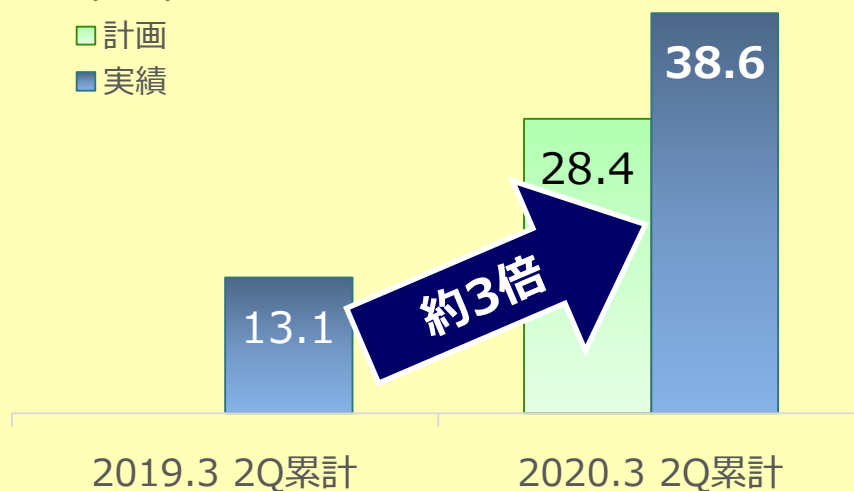
新規顧客獲得

2Q累計で前期比増、下期も顧客基盤のさらなる拡大を目指す。

＜新規顧客獲得 実績＞

(億円)

□ 計画
■ 実績

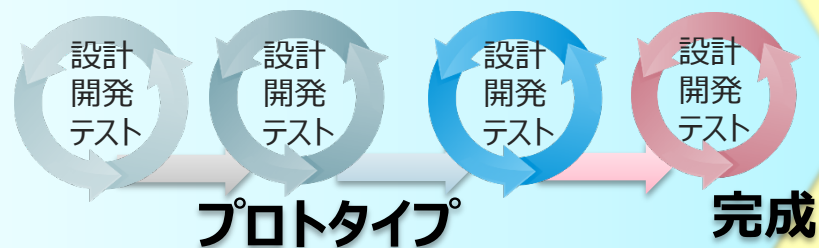


顧客ニーズに迅速に対応するため、自動化ツールの活用やアジャイル開発の採用により、システム開発期間の短縮や品質向上を実現。
海外グループ会社との連携やコスト競争力を強化するためオフショアに注力。

開発手法

新たな開発手法習得への積極的な取り組みを推進。

<アジャイル開発>



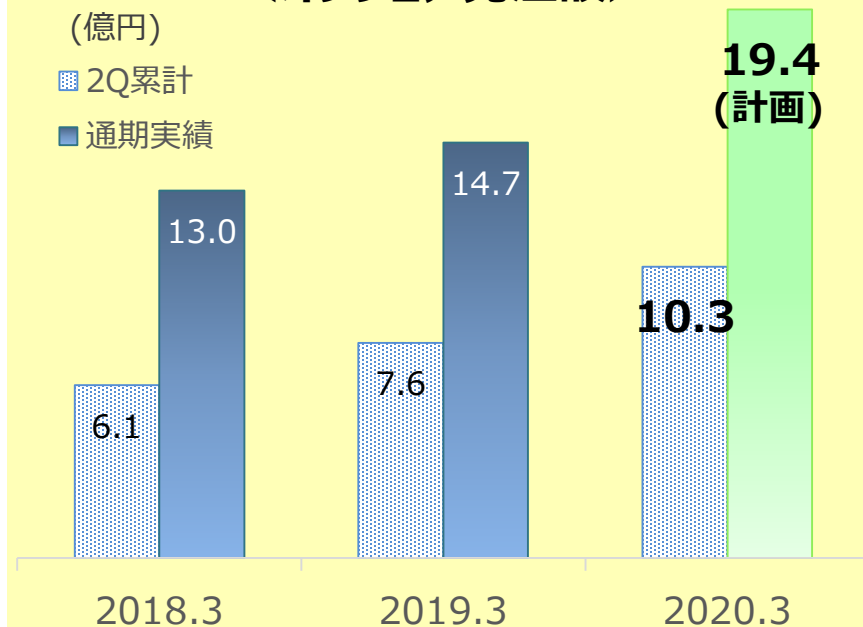
<自動化ツール例>



オフショア発注

オフショア発注拡大により、マネジメント力の向上にも貢献。

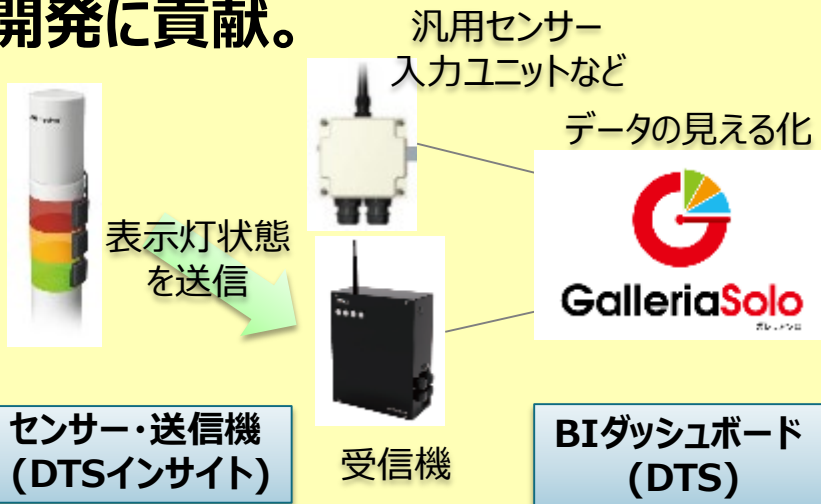
<オフショア発注額>



DTSグループが保有する技術・ソリューションを活用し、2019年4月より、製造業顧客とスマートファクトリーソリューションの取り組みにおいて協業を開始。
システム運用管理と従業員サポートの一元管理と自動化を実現、2019年10月よりサービス提供を開始。

スマートファクトリー

工場設備の稼働や出来高、並びに作業員をマネジメントするシステムの開発に貢献。



ソリューション開発支援

従業員サポートサービス

本サービス導入で、顧客業務における問題の迅速な解決により、本業の生産性向上に寄与。



DX・SoE型ビジネスへの潮流に適応するため、CAMBRICなど新技術の習得に向けた人材育成やDXに関する案件獲得に注力。

第2四半期累計では、DX関連事業売上高、DX人材の育成ともに伸長しており、下期以降も拡大を目指す。

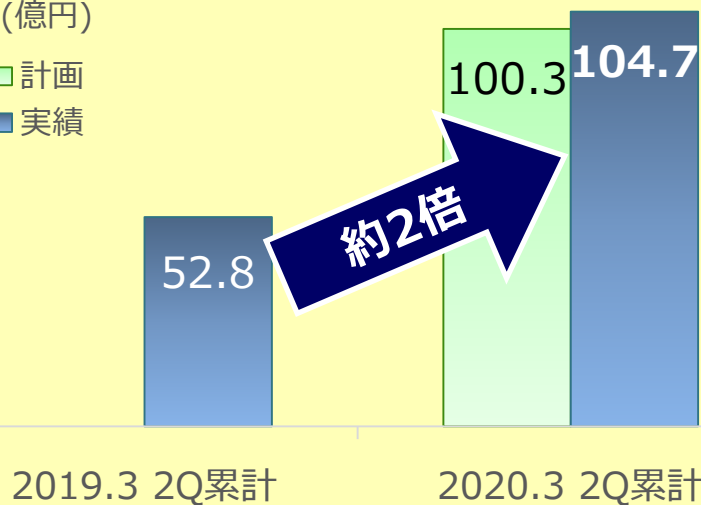
DX関連 売上高

CAMBRIC関連やソリューションビジネス等の拡大を推進。

<DX関連事業 売上高>

(億円)

■ 計画
■ 実績



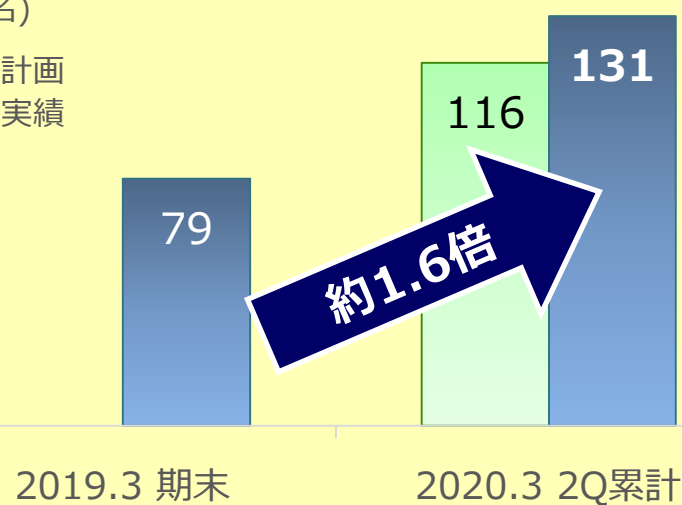
DX関連人材の育成

DX関連資格(※)保有者数において、2Q累計では計画を上回った。

<DX関連資格 保有者数>

(名)

■ 計画
■ 実績



グループ経営基盤の強化

ESGの取り組み強化のため、2019年4月より総務部にESG推進室を設置、SDGsに対する理解を深め、持続可能な社会の実現に向けて取り組む。
海外市場でのビジネス拡大を目指すため、DTS海外グループ拠点を中心とした戦略の検討を推進し、順次取り組みを開始。



【DTS上海】

中国沿岸部をターゲットとし、M&A／アライアンス推進
(中国国内事業及び、ソリューション、DX事業拡大)

【DLSE】

オフショア開発強化及び中国国内事業の拡大



【DTSアメリカ】

M&A／アライアンス検討
(ソリューション事業等)

中国



【DTSベトナム】

SI開発力強化
SAP開発体制構築

インド

ベトナム



【Nelito】

金融向け自社ソリューションの拡販 (インド国内・東南アジア)

【その他】

SAP事業のグローバル対応力強化に向けたインド企業とのM&A・アライアンス推進

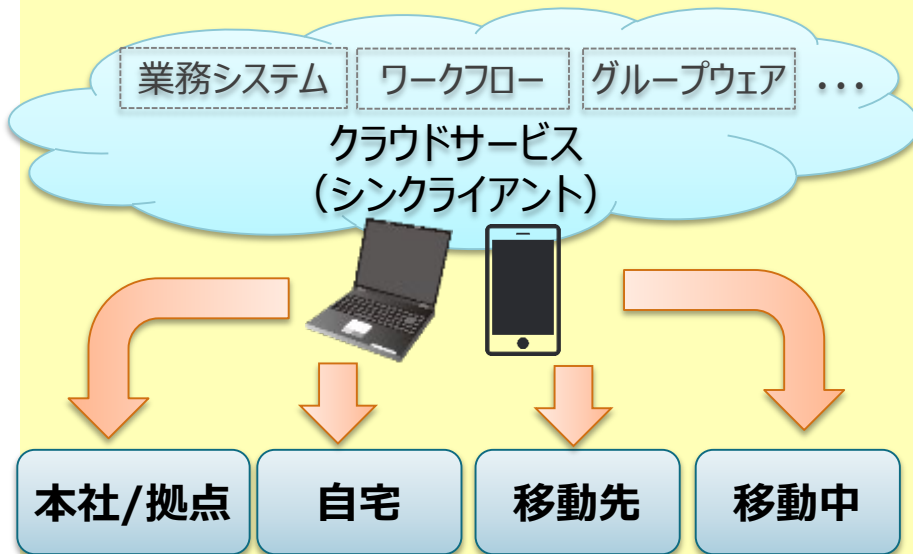
アメリカ

事業継続性向上や多様な働き方へのインフラ整備などを目的に、DTS社内システムのデータセンター移設や社内PCのシンククライアント化を推進中。

自律型人材への変革を促進するため、チャレンジを評価する人事制度に変更。新しいことに挑戦しやすい企業風土の確立を推進。

シンククライアント導入

場所やデバイスを固定せず新たな働き方を実現するとともに、データの一元管理によるセキュリティ強化



自律型人材への変革

人事評価制度の変更により、自律型人材への変革を促進



3. 2020年3月期 見通し

経済の先行きは不透明であるものの、自動運転などの先行技術や、卸売・小売における顧客管理・顧客接点強化、人手不足の解消に向けた生産性向上に関するIT投資を見込む。

業種	IT投資の見通し
金融・保険	<ul style="list-style-type: none">・金融分野はシステム統合やマイグレーションなどへの堅調な投資を見込む・RPAなどを活用した生産性向上に向けた投資が継続している・保険は顧客接点／販売チャネル強化の需要が成長を支えたと見込む
情報通信	<ul style="list-style-type: none">・設備投資の抑制傾向に変わりはないが、5G関連への投資や設備管理システム更改などによる投資需要の継続を見込む
製造	<ul style="list-style-type: none">・自動運転などの先行技術、スマートファクトリーにおけるIoTやロボティクス、AI関連への投資ならびに基幹系システムのクラウド環境への移行を見込む
その他	<ul style="list-style-type: none">・医療・福祉・公務では、官公庁や地方自治体、共済などにおける基幹系システムの更改需要の堅調な推移を見込む・卸売・小売は、顧客管理・顧客接点強化、人手不足解消に向けた効率化や省人化に向けた投資の継続を見込む

2020年3月期 通期業績予想【連結】

売上高は、前年同期比+67.8億円、7.8%の成長を目指す。
 営業利益は、前年同期比+2.1億円とし、4期連続で10%以上かつ、長期計画目標50期100億円の達成を2年前倒しで目指す。
 売上高・営業利益ともに当初予想から変更なし。

(単位：億円)	金額	売上比（前年同期比）		前年同期比	
				増減	比率
売上高	935.0	—		+67.8	107.8%
売上総利益	183.5	19.6%	(△0.6pt)	+8.3	104.8%
販管費	83.5	8.9%	(+0.0pt)	+6.2	108.1%
営業利益	100.0	10.7%	(△0.6pt)	+2.1	102.1%
経常利益	101.5	10.9%	(△0.6pt)	+2.2	102.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	69.0	7.4%	(△0.5pt)	+0.8	101.2%

2020年3月期 配当予想

第2四半期末配当は、当初予想どおり1株あたり20円とする。
年間配当においても、当初予想どおりの50円を予定。安定配当を継続的に実施し、総還元性向45%以上を目指す。

	第2四半期末	期末	年間	総還元性向 (連結)	配当性向 (連結)
2020年3月期 (予想)	20円	30円	50円	45.1% ※1	33.5%
2019年3月期 ※2	17.5円 (35円)	30円 (60円)	47.5円 (95円)	41.3%	32.5%

※1：2019年5月に自己株式177,600株（約8億円）を取得済

※2：2019年3月期は株式分割後換算額

（2019年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため）

その他資料

(参考) 主なプレスリリース等

公表日	会社名	タイトル・概要
4月26日	D T S	インド Nelito Systems Limitedを子会社化 ※Nelito Systems Limitedの株式を追加取得し、子会社とすることを決定。DTSグループの金融事業分野において、さらなる事業シナジーの実現により、グローバルビジネス拡大を目指す
8月5日	D T S インサイト	「システムLSI設計ソリューションサービスの受注を開始」 ※システムLSIやFPGA、周辺回路/基板のハードウェア設計・製造と、OS ポーティング・ドライバ開発などのソフトウェア開発をワンストップで提供。本サービスにより、お客様は複数のベンダーとの調整や管理負担が軽減され、最適なハードウェアとファームウェアを実装したLSI設計が可能
9月5日	D T S WEST	「国内初 LGWAN上で動作する『kotosora for LGWAN』を提供開始」 ※LGWAN（総合行政ネットワーク）上で利用できる多言語 AI チャットボットサービス「kotosora for LGWAN」の提供を開始。本サービス導入により、単純で定型的な業務をチャットボットで対応することで、自治体職員が住民サービス提供などの「人」にしか出来ない業務に注力することを支援
9月25日	D T S インサイト	「SiFiveと日本市場の正規代理店としてパートナーシップ契約を締結」 ※DTSインサイトは、商用目的のRISC-VプロセッサIP及び半導体シリコンソリューションのリーディングカンパニーであるSiFive（米国）と日本市場におけるSiFiveのRISC-V IP及びツール販売に関するパートナーシップ契約を締結
10月7日	D T S WEST	「ランゲージワン株式会社が提供を開始する多言語AIチャットボットサービスに『kotosora』を採用」 ※多言語電話・映像通訳サービスのランゲージワン株式会社が提供する「多言語AIチャットボットサービス」にDTS WESTのAI FAQ ソリューション「kotosora」が採用された。

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました

新たな価値を創り出す

MADE BY DTS Group

The logo for MADE BY DTS Group features the text "MADE BY DTS Group" in a bold, red, sans-serif font. The text is positioned above a large, stylized red swoosh that curves from the left towards the right, tapering off. The swoosh has a slight gradient and a shadow effect, giving it a three-dimensional appearance.